

## 2016 WAO チームリレー ブリーフィング

日曜日 ジャッジ: Jorge Pires

チーム・スピードステークス・リレーには、WAO Rules & Regulations セクション3.4の全てのルールが適用される。このブリーフィングには、2016 WAOチーム・ペンタアスロン・スピードステークス・リレー競技に固有の情報が含まれる。

### コース

・チーム・ペンタアスロン・スピードステークス・リレーは、各体高クラスごとに1つずつの、4つの別個のコースから成る。コースの順番は 白四角(300)→白丸(400)→黒丸(525)→最後に黒四角(650)となる。

・以下の場合、一人のハンドラーが二頭の犬と走ってもよい:異なる犬であること、二頭の走行順が続いていないこと;例えば、同一ハンドラーは400クラスの犬と650クラスの犬の二頭と走ることができる(525クラスの犬とハンドラーが間に走るため)しかし、400クラスの犬と525クラスの犬の二頭と走るとはできない。

・二頭の犬と走るハンドラーには、二番目に走る犬を抑えておくヘルパーが必ずいなければならない。ヘルパーはチームメンバーでもよいし、チームマネージャーでもよい。  
注:ヘルパーの行為は、リレーに出場する競技者として審査される。

### バトン受け渡しエリア

バトンの受け渡しには以下のルールが適用される:

- ・リレーコースを走っているハンドラーがバトンを持つ。
- ・コース走行中のハンドラーは、最後の障害を終えたら指定された受け渡しボックスに向かい、出走を待っているハンドラーにバトンを渡さなければならない。受け渡しの際は、両方のハンドラーと両方の犬が、指定された受け渡しボックスの境界線の中にいなければならない。そうでない場合は、バトン受け渡しの失敗として10点の減点となる。
- ・受け渡しエリアで待っているハンドラーは、虐待的あるいは酷いとジャッジがみなすような方法でなければ、どのような方法で犬を抱えたり抑えたりしてもよい(犬の首筋を優しくつかむ、腕に犬を抱きかかえるといった方法を含む)。一旦犬を放した後、コース上でハンドラーが犬に触れた場合は減点となる。
- ・受け渡しエリアで待っているハンドラーは、犬にリードを付けていてもよい。しかし、リード及び/あるいはカラーは、バトン受け渡しの前に外さなければならない。そうでない場合は、その犬は失格となる。
- ・バトン受け渡しエリアの内側でも外側でも、バトンを落とした場合、あるいは投げた場合は、10点の減点となる。ハンドラーはコース走行を続ける前に、バトンを拾わなければならない。バトンを拾わなかった場合は、その犬は失格となる。ハンドラーが、バ

トンがないまま受け渡しエリアを出発した場合は、ハンドラーがバトンを回収する前に犬がコース上の障害を通過した場合、その犬は失格となる。落としたバトンは、次の障害に進む前に拾わなければならない。ハンドラーがバトンをもっていない時に犬が障害の一部にさしかかった場合、その犬は失格となる。

・コース走行を終えバトンを渡したハンドラーと犬は、受け渡しエリアを出て、必要であればリードを付けたリ犬を抑えたりしてもよいが、全ての犬が走り終えるまで、リングを出てはならない。もしいずれかの犬／ハンドラーがリングから出てしまった場合は、100点の減点となる。これはチーム競技である！他の3人のハンドラーが、チームメイトを応援したり手助けしたりすることは認められるが、リングの外にいる人が、コース走行中のハンドラーを手助けしてはならない。

・メイン・ジャッジは、バトンを持っているハンドラーの犬を審査する。受け渡しエリアに向かっている犬が、自分のコースの最後の障害を終えた後、バトンを渡す前に他の障害を飛んだ場合、その犬は失格となる。受け渡しエリアに戻った犬が、自分のコースの最後の障害を終え、バトンの受け渡しを終えた後に他の障害を飛んだ場合は、10点の減点になる。

・[メインジャッジとは]別に、バトン受け渡しエリアのジャッジが置かれる。バトン受け渡しの前に次の犬が障害を飛んだ場合は、バトン受け渡し失敗として10点の減点になる。その場合、その犬は受け渡しエリアに戻り、バトンを受け取った後、再びスタートし直さなければならない。

### 失格

犬が失格した場合、50点の減点となる。タイム計測は続いているので、タイム減点は課されない。ハンドラーはスポーツマンシップに則り、残りのコースを正しく走り終えるように努めなければならない。失格したハンドラーが、タイム短縮のために、コースを正しく走り終えずに受け渡しエリアに戻ったとジャッジが判断した場合は、チームの走行タイムに50秒を加算する。